

3学年だより

NO 577

飛翔

令和3年1月30日



小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

感謝！

私立高校の合格の知らせが職員室に届くたびに先生方が「よかったね！おめでとう！」と担任の先生に声をかけます。担任の先生は「ありがとうございます。」と笑顔でお礼を返します。合格した生徒本人は、自分の知らないところで担任の先生が先生方にお礼を言っていることを知ってびっくりしたかもしれません。皆さんは見えないところでいろいろな人に支えられているのです。皆さんの進路を多くの人が応援しているのです。

合格して、自分の進路が確定したら、少し立ち止まって「自分を支えてくれた人」のことを考えることは大切なことだと思います。皆さんの保護者の方が、一番あなたがたのことを考えてくれている大切な人です。合格したら、まず、感謝の気持ちを伝えてください。この飛翔を書いている今も、保護者はあなたのことを思っています。常に……。

保護者以外にもたくさんの方があなた方を支えてくれています。学校では、担任の先生、部活動の顧問の先生、校長先生、教頭先生……。直接、あなた方と話したことのない職員も、間接的にあなた方を支えてくれています。清掃の時のごみの分別の指導や校庭に咲くお花のお手入れ、大切な文書を教育委員会に届けてくれる校務用員さんの石川さん、吉積さんが一生懸命に支えてくれています。図書室に行けば、学校司書の中島さんが図書室を整理して、みなさんが使いやすいように図書室を管理してくれています。体調を崩したら、養護教諭の平塚先生が、定期の発行には、事務の近藤さんに、毎日、食べる給食の職員の角野さん、石黒さん、このようにたくさんの人に支えられて今日まで来ました。

進路という大きな壁を乗り越えようとしているあなた方、壁を乗り越えるとき、乗り越えたのはあなたの力ですが、支えてくれた人の感謝も忘れないでください。一人では乗り越えられない壁がたくさんあるのですから。

進路が確定したら、自分を支えてくれた多くの人にお礼を言いましょう。そういう気持ち大切ですと私は思います。